

玄海原子力発電所再稼働に関して、住民説明会の開催を求める要請書

2017年3月7日

福岡市長 高島 宗一郎 様

【要請の趣旨】

1. 佐賀県では、2月21日から5つの市において、玄海原発の再稼働に対する住民説明会が開催されました。福岡市は、約155万人を超える人口を擁し、近年観光客や留学生の増加、さらには経済活動での流入が激しく、多くの外国人も生活しています。しかし、玄海原発での過酷事故を想定したとき、備えが不十分です。また、過酷事故の際、福岡市は、糸島市から避難した9500名を受け入れることになっていますが、市民に十分に周知されていません。さらに福岡市民自身も避難しなければならない事態も起こりえます。よって、福岡市でも、安全に対するの構えを持つために、住民説明会が必要と考えられます。
2. 電力会社は、今の時点だけ、しかも事業者としての利益だけを考え再稼働に向けて邁進しています。私たち福岡市民の多くは得るものはありません。しかし、いったん原発事故が起きれば、私たち福岡市民は甚大な被害を受けます。そして、福島の実例のように犠牲だけを押し付けられます。それなのに何故再稼働しようとしているのかが分かりません。九州電力の説明が必要です。
3. 今回の佐賀県主催の説明会に対して、佐賀県庁の新エネルギー産業課に、説明会に参加させてほしいと連絡しましたところ、「佐賀県民だけしか参加できない、福岡の人は、福岡の防災機関に要望してください。」との返答をもらいました。私たちは、佐賀県には頼ることはできません。しかし、原発事故には「県境」はありません。
4. 3月3日に開かれた福岡県議会で小川洋知事は、「県内の他の市町村から住民説明会の希望がなされた場合は、その開催を求める働きかけをさせていただきたい」と答弁されています。福岡市での対応をお願いします。
以上の理由により、以下のとおり要請いたします。

【要請項目】

玄海原発再稼働に関して福岡市として、市民に対して、各区各町内において、住民説明会を開いてください。

【要請者】

住 所

氏 名 「今を生きる会」

世話人代表 左近 明子

住 所

氏 名 「戦争と原発のない社会をめざす福岡市民の会」

代表 工藤 逸男

※ 2017年3月21日までの回答を求めます。